事業所における自己評価結果（公表）放課後等デイサービス

令和4年度　　実施期間：12/1～12/28　　事業所名　多機能型事業所ぷれも　回収率100%　6／6

※「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の合計が全体の人数に達していない項目の残数は「無回答」の人数です。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	国の基準を満たしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	4	0	基準は満たしていますが、需要に応じて職員を募集しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	お子さんの特性に合わせて分かりやすい環境作りを行っていきます。また、バリアフリー化を検討していきます。
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	ケース会議等を通し、PDCAサイクルの実施に努めていきます。
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	保護者向けアンケートの結果を職員で共有し、改善に向けての話し合いを行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	評価の結果と改善策について、毎年4月にホームページにて公開しています。

	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	0	年2回の第三者委員会にて、アンケート結果を報告し、運営について助言をいただいています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	外部講師による研修や、内部の専門分野の指導者による勉強会を通して、職員の専門的な知識と技術の習得・向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	個別支援計画は、ケース会議を開き、一人ひとりのお子さんの計画について検討し作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	新版K式、WPPSI-Ⅲ、WISC-Ⅳ、K-ABCⅡ、STRAW-R、他言語検査など各種検査を必要に応じて実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	担当者間で指導前後に話し合いを行っています。また、年度当初に、年間計画をチームで作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6	0	0	経験の積み重ねを目的に、同じ活動を一定期間行うことがあります。目的に沿ってお子さんが楽しめる活動を常に考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	長期休暇中はグループ指導を個別指導に切り替えて実施しております。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	お子さんの状況に応じて計画を立てています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	教材の準備も併せて事前に支援内容や役割分担について話し合いをしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	支援後に、その日の支援内容の振り返り、次回の支援内容について話し合いを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	その日のうちに記録を取ることを徹底し、記入後の確認も職員間で行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	前期と後期に分けモニタリングを行って、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	3	0	ガイドラインに沿って支援内容を検討しています。職員へのガイドラインの周知徹底を図っていきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	児童発達管理責任者又は、普段の療育の担当者が参加しています。

関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2	0	当事業所では、送迎を行っておりませんが、お子さんの状況に応じて学校と連携を図っております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	医療ケアが必要なお子さんは現在おりませんが、必要に応じて連携を取っていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	必要に応じて、連携を取り合い、お子さんの状況や支援内容についての共通理解を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	当事業所での利用は4年生までとなっています。他事業所へ移行する場合は、必要に応じて支援内容の情報を共有させていただいております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	定期的な助言は受けておりませんが、積極的に外部研修に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	4	当事業所では、「交流の場」の提供よりも、「個々のニーズに合わせた療育」の提供に重点を置いていますので、今のところ「交流の場」の予定はありません。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	千葉市の自立支援協議会の選任は受けておりません。

	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	6	0	0	お子さんの療育時、お子さんの状況や課題について話し合う時間を設けています。また、面談等で保護者様と共通理解を持つようにしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	2	0	保護者様向け勉強会やペアレントトレーニングの開催を検討しています。
	㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	契約時に説明しています。規定については、施設内で閲覧できるようにしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	療育時、面談時に適宜保護者様の相談に応じるようにしています。また、必要に応じて電話等でも相談を受けております。
保護者との説明責任等	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1	0	コロナウイルスの感染拡大により、保護者様同士の連携の場を提供することが難しい状況ですが、今後検討していきます。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情に関する体制は整備されています。苦情を受けた際には、職員間で迅速に共有し、発生原因や改善策について話し合っています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	ぷれもだよりを毎月発行しております。また、「マチコミ」「LINE」を活用した情報発信も行っています。

	㉟	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6	0	0	個人情報の取り扱いについては十分配慮していますが、職員間で周知徹底をしていきます。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	必要に応じて面談を行ったり、文書で案内するなどの配慮を行っています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	自治会への入会はしていますが、地域に向けた行事の提供は今のところ実施しておりません。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周しているか	6	0	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、毎月避難訓練や防災訓練を職員間で行っています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	月に一度職員で避難訓練、防犯訓練を行っています。また、お子さんを含めた訓練も実施しております。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	年に1回虐待防止研修を行い、職員へ周知徹底しています。
非常時等の対	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	どのような場合に身体拘束になるかについて、委員会にて検討し、職員への周知徹底を行います。また、身体拘束の必要がないように、職員の知識・技術の向上を図ります。

応	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	1	飲料水以外の提供は行っていませんが、指導中に小麦粉や大豆等を使用する場合には、十分配慮しています。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	0	ヒヤリハットが起きた際にはすぐに記載し、毎週の職員会議にて共有するようにしています。